

品質管理の取り組み

当社は、品質マネジメントシステム(QMS)および工業標準化法に基づき、全社一丸となって、ステークホルダーの皆様から信頼される製品を提供するため、品質管理活動を推進しています。

品質管理活動

当社は、日本鉄鋼連盟の「鉄鋼業における品質保証体制強化に向けたガイドライン」および日本鋳業協会の「非鉄スラグ製品の製造・販売ガイドライン」に従った品質管理体制を構築しています。製品の品質規格を満たすとともに、顧客の要望に応え、かつ環境汚染のない安全で質の高い製品を常に提供できるように品質管理活動を行っています。



受入検査

主な取り組み	具体的な活動実績
顧客満足度向上に向けた方策	フェロニッケル製品については、顧客が要望する製品品質のばらつきが少なく、かつ取り扱いやすい形状の製品の提供、ならびに希望納期への確実な対応を行うことにより、お客様から高い評価をいただきました。 スラグ製品(フェロニッケルスラグ製品、熔融スラグ製品)については、定期的に土壤汚染防止法に基づく溶出試験、含有量試験を実施することで安全性を常に確認しています。加えて、お客様からの要望に基づいた化学成分、粒度などを調整し提供することで、高い顧客満足度を得ています。
社内品質管理能力のレベルアップへの支援	2016年度に引き続き「新入社員の品質管理教育」、「QC手法教育」、「なぜなぜ分析教育」を実施しました。2018年度からは新しい教育として技術の改善や研究開発に有効な「品質工学の教育」を実施する計画で、2017年度は社内講師養成と教育プログラム作成の準備に取り組みしました。
製品品質の信頼性向上のための分析技術のブラッシュアップ	製品品質の信頼性を確保するために技術力が必要な分析・試験において、ベテラン社員からの技術伝承が課題となっています。そのため、製造本部関係の技術伝承を含めた各技術の伝承士を社内で養成しています。伝承士は手順書にはないベテラン社員の技術やノウハウを聞き出し、スキル表を作成します。そのスキル表をもとにOJTを含めて他の作業員の教育訓練を行うことで、確実に技術伝承の成果を上げています。
試験所・校正機関の認定規格 ISO/IEC 17025の試験所認定	フェロニッケル製品やニッケル鉱石の価格は、ニッケル品位で決定されるため、ニッケル分析値の信頼性確保が重要となります。そのため、当社では「フェロニッケル中の成分の化学分析方法」、「フェロニッケル中の成分の蛍光X線分析方法」、「ニッケル鉱石中のニッケルの化学分析方法」について、ISO/IEC 17025の認定を受けています。これにより、当社製品検査や原料の受入検査結果の国際的・客観的な信頼性の確保に寄与しています。



製品検査



出荷前検査

従業員とともに

当社は、従業員の健康と安全を確保することが最も重要であると認識しています。そのため、職場に潜むリスク対策を推進し、労働安全の確保、衛生活動の充実、防災訓練の確実な実施に努めています。

労働安全活動

2017年度は、「安全風土の醸成による無災害の達成」をスローガンに掲げ、リスクアセスメント活動、ヒヤリ・ハット・気がかり活動、各種安全衛生巡視、社内安全衛生教育、KY(危険予知)活動、安全意識の向上活動、3S(整理・整頓・清掃)活動に取り組みました。

「社内安全衛生教育」では、受講3ヶ月経過後に受講者の理解度・活用度を各職場の上長が確認し、結果をフィードバックすることで、次回以降の教育方法の改善につなげています。

また、過去に災害が発生した場所に対して、注意喚起の情報を看板表示で「見える化」し、作業員の安全意識を向上させることで、類似災害の防止に努めています。



社内安全衛生教育

衛生活動

「社内駅伝大会」を平成9年以来、20年ぶりに復活開催し、「社員の体力の維持・増進」、「職場のコミュニケーションの向上」による健康への意識向上を図りました。また、健康教育として管理監督者を対象とした「メンタルヘルス教育」、健診所見率低減を目的とした「運動教室」も継続して行っています。

今後も労働時間の適正な把握および産業医による面接指導などを行い、国の「働き方改革」の取り組み強化に対応した過重労働による健康障害防止に努めていきます。



社内駅伝大会

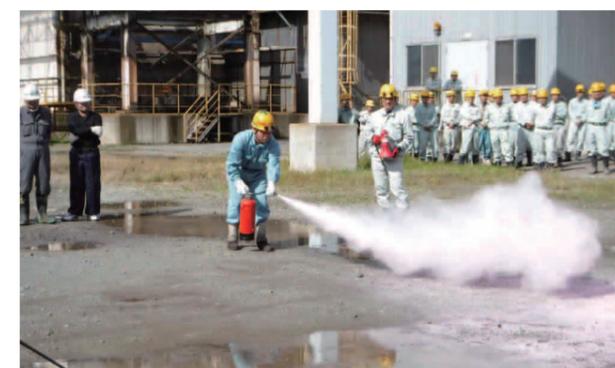


運動教室

防災活動

2017年度は、総合防災訓練、夜間・休日訓練、津波避難訓練を全社で実施しました。夜間・休日に大規模地震が発生し、津波警報が発令したという想定で、避難・報告・連絡が迅速かつ円滑に対応でき、二次災害を防止することを目的として訓練を行いました。訓練で挙げられた課題は、自部署の危機マニュアルへ反映し、関係従業員へ周知することで対応しています。

また、机上でさまざまな想定に基づいて対応を考える災害図上訓練を5回、防火防災講習会を2回、普通救命講習会を2回実施しました。今後も社員の防災意識向上を目的とした教育訓練を行っていきます。



総合防災訓練



災害図上訓練